

令和 3 年度

八女市公営企業会計決算審査意見書

水道事業会計

下水道事業会計

八女市監査委員

4八監第96-3号
令和4年8月5日

八女市長 三田村 統 之 様

八女市監査委員 浅 田 秀 敏
同 木 下 徳 臣

令和3年度八女市公営企業会計決算審査意見の提出について

地方公営企業法第30条第2項の規定に基づき、審査に付された令和3年度公営企業会計の決算及び証書類、その他政令で定められた書類について審査しましたので、その結果について審査意見書を提出いたします。

目 次

第1	審査の対象	1
第2	審査の期間	1
第3	審査の方法	1
第4	審査の結果	1

○水道事業会計

1	業務実績について	2
2	予算の執行状況について	
	（1）収益的収入及び支出について	2
	（2）資本的収入及び支出について	3
3	経営成績について	
	（1）損益計算について	4
	（2）剰余金について	5
4	財務状況について	
	（1）資産について	6
	（2）負債について	8
	（3）資本について	8
むすび		9

○下水道事業会計

1	業務実績について	1 0
2	予算の執行状況について	
	（1）収益的収入及び支出について	1 0
	（2）資本的収入及び支出について	1 1
3	経営成績について	
	（1）損益計算について	1 2
	（2）剰余金について	1 3
4	財務状況について	
	（1）資産について	1 4
	（2）負債について	1 6
	（3）資本について	1 6
むすび		1 7

- | |
|---|
| <p>1 比率（％）は、小数点以下第3位を四捨五入した。</p> <p>2 各表中の記号の用法は、次のとおりである。</p> <p>「△」＝ 負数</p> <p>「－」＝ 該当数値がないもの</p> <p>「0.00」＝ 該当数値はあるが単位未満のもの</p> <p>「皆増」「皆減」＝比率の対象数値が「0」のもの</p> |
|---|

令和 3 年度 八女市公営企業会計決算審査意見書

第 1 審査の対象

令和 3 年度 八女市水道事業会計決算

令和 3 年度 八女市下水道事業会計決算

第 2 審査の期間

令和 4 年 6 月 2 7 日から同年 8 月 3 日まで

第 3 審査の方法

審査にあたっては、提出された決算書及び決算附属書類は地方公営企業法及びその他関係法令に準拠して作成されているか、財務諸表の計数は正確に計上されているか、経営成績並びに財務状況は適正に表示されているか、会計処理が関係法令に従って正しく行われているか等に着眼して関係職員の説明により実施した。

第 4 審査の結果

公営企業会計の決算報告書、貸借対照表、損益計算書、剰余金計算書及び剰余金処分計算書のほか決算附属書類は、いずれも関係法令に準拠して作成され、かつ計数は正確で経営成績及び財務状況も適正に表示されていると認められた。

公営企業会計の審査の概要は次のとおりである。

水道事業会計

1 業務実績について

今年度も、前年度に引き続き水道水の安定供給に努められた。また、豊岡地区水道整備事業は、事業開始から2年目を迎え、主に施設の整備工事を行っている。

主な工事として、室岡、馬場、納楚、祈禱院、本村における配水管布設工事のほか、蒲原、吉田、龍ヶ原、宮野、長野及び星野村宮蔵地区で配水管移設工事を行い、神露淵地区では導水管布設工事を行った。また、前年度からの繰越事業である長野及び吉田地内における上水道配水管移設工事、祈禱院及び星野村千々谷地内における上水道配水管布設工事等も行われている。豊岡地区水道整備事業においては、第1配水池、第2配水池、北田形ポンプ場の施設整備工事、送・配水管布設工事が行われた。

概況としては、本年度の給水戸数は15,659戸（前年度比354戸増）、総有収水量3,179,140^m（同比13,884^m減）及び給水収益757,694,792円（同比16,408,541円増）であり、給水戸数及び給水収益は前年度より増加している。その要因としては、下水道切替え時の水道加入や住宅・アパート建築の増等によるものと思われる。

2 予算の執行状況について

（1）収益的収入及び支出について

令和3年度の決算額は、次のとおりである。（消費税及び地方消費税を含む。）

（単位：円・％）

区 分	予算現額	決 算 額	予算現額に対する 決算額の増減	執 行 率
水道事業収益	1,005,019,000	1,009,745,349	4,726,349	100.47
営業収益	831,104,000	837,246,320	6,142,320	100.74
営業外収益	173,914,000	172,499,029	△ 1,414,971	99.19
特別利益	1,000	0	△ 1,000	0.00
区 分	予算現額	決 算 額	不 用 額	執 行 率
水道事業費用	888,905,000	869,095,154	19,809,846	97.77
営業費用	857,204,000	840,303,138	16,900,862	98.03
営業外費用	28,382,636	28,382,636	0	100.00
特別損失	409,380	409,380	0	100.00
予備費	2,908,984	0	2,908,984	0.00

収益的収入の構成をみると、営業収益が82.92%を占めており、そのほとんどが給水収益である。

収益的支出は、予算現額に対し19,809,846円の不用額が生じており、執行率は97.77%である。構成比率は、営業費用96.69%、営業外費用3.26%及び特別損失0.05%で、不用額の主なものは、委託料8,492,054円及び修繕費4,778,077円である。

(2) 資本的収入及び支出について

本年度の決算額は、次のとおりである。（消費税及び地方消費税を含む。）

(単位：円・%)

区 分	予算現額	決算額	予算現額に対する 決算額の増減		執行率
資本的収入	1,272,896,000	1,280,568,682	7,672,682		100.60
工事負担金	19,725,000	21,979,100	2,254,100		111.43
他会計負担金	9,900,000	12,378,072	2,478,072		125.03
他会計出資金	382,848,000	382,848,000	0		100.00
加 入 金	26,305,000	27,945,510	1,640,510		106.24
固定資産売却代金	0	0	0		0.00
国庫補助金	318,000,000	318,000,000	0		100.00
企業債	416,300,000	417,600,000	1,300,000		100.31
有価証券売却代金	99,818,000	99,818,000	0		100.00
区 分	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	執行率
資本的支出	1,729,774,000	1,679,663,674	9,680,000	40,430,326	97.10
建設改良費	1,403,621,000	1,355,595,281	9,680,000	38,345,719	96.58
企業債償還金	224,343,000	224,342,393	0	607	100.00
過年度還付金	210,000	0	0	210,000	0.00
投 資	100,600,000	99,726,000	0	874,000	99.13
予 備 費	1,000,000	0	0	1,000,000	0.00
差 引	△ 456,878,000	△ 399,094,992			

資本的収入の主なものは、他会計出資金、国庫補助金及び企業債であり、各区分のうちの多くが、いずれも豊岡地区水道整備事業に充てられる財源である。

資本的支出の執行率は97.10％であり、不用額の主なものは、工事請負費36,079,500円、手当等889,326円である。工事請負費については配水管移設工事（忠見地内）外1件で9,680,000円が翌年度へ繰り越されている。

資本的収入が資本的支出に対して不足する額399,094,992円は、当年度分消費税資本的収支調整額81,387,172円及び過年度分損益勘定留保資金317,707,820円をもって全額補てんされている。

3 経営成績について

(1) 損益計算について

（当該年度中における企業の収益と費用を対比して損益を表示し、企業の経営成績を明らかにするものである。消費税及び地方消費税を除く。）

（単位：円・％）

区 分	令和3年度	令和2年度	増 減 額	増 減 率
水道事業収益	894,605,104	881,520,446	13,084,658	1.48
営業収益	761,460,725	744,542,043	16,918,682	2.27
営業外収益	133,144,379	136,914,247	△ 3,769,868	△ 2.75
特別利益	0	64,156	△ 64,156	皆減
水道事業費用	834,532,038	821,157,807	13,374,231	1.63
営業費用	805,476,477	785,822,413	19,654,064	2.50
営業外費用	28,683,032	32,261,069	△ 3,578,037	△ 11.09
特別損失	372,529	3,074,325	△ 2,701,796	△ 87.88
純損益	60,073,066	60,362,639	△ 289,573	△ 0.48
経常損益	60,445,595	63,372,808	△ 2,927,213	△ 4.62
営業損益	△ 44,015,752	△ 41,280,370	△ 2,735,382	6.63

営業収益の主なものは、給水収益757,694,792円で、営業収益の99.51％を占めている。

事業費用の特別損失は、令和2年度に簡易水道を水道事業へ統合したことにより、確定申告後の消費税支払いが生じたが、令和3年度はなかったことから減少している。

また、純損益、経常損益及び営業損益については、昨年度同等に推移している。

事業費用では、当面、原水及び浄水費、減価償却費等が大きく占めることが予想されるため、引き続き全体的な経費削減に努める必要がある。

(2) 剰余金について

ア 利益剰余金について（剰余金がその年度中に増減した内容を表すものである。）

前年度末繰越利益剰余金	973, 000, 256 円
当年度純利益	60, 073, 066 円
当年度末処分利益剰余金	1, 033, 073, 322 円

前年度純利益60, 362, 639円と本年度純利益を比較すると、289, 573円の減少となる。

イ 資本剰余金について（本年度増減額）

前年度末資本剰余金	36, 717, 058 円
簡易水道統合による評価	0 円
他会計出資金	0 円
受贈財産評価額	0 円
国庫補助金	0 円
工事負担金	0 円
他会計補助金	0 円
加入金	0 円
企業債の償還	0 円
当年度末資本剰余金	35, 872, 214 円

前年度末資本剰余金36, 717, 058円に対して当年度末資本剰余金は35, 872, 214円で、本年度844, 844円減少した。この要因は、水道事業用地を売却したことによるものである。

4 財務状況について

(1) 資産について

(単位：円・％)

区 分	令和3年度	令和2年度	増 減 額	増減率
資産合計	12,340,103,500	10,923,821,975	1,416,281,525	12.97
固定資産	9,618,769,004	8,787,996,949	830,772,055	9.45
有形固定資産	9,419,726,004	8,588,861,949	830,864,055	9.67
無形固定資産	320,000	320,000	0	0.00
投資その他の資産	198,723,000	198,815,000	△ 92,000	△ 0.05
流動資産	2,721,334,496	2,135,825,026	585,509,470	27.41
現金預金	1,995,015,129	1,993,250,398	1,764,731	0.09
未収金	726,319,367	106,874,628	619,444,739	579.60
貯蔵品	0	0	0	0.00
前払金	0	35,700,000	△ 35,700,000	皆減
その他流動資産	0	0	0	0.00

(消費税等を除く)

流動資産の未収金の主なものは、水道料金15,949,582円(現年度及び過年度分)、豊岡地区水道整備事業による一般会計出資金318,000,000円及び生活基盤施設耐震化等交付金318,000,000円である。また、未収金のうち貸倒引当金は、1,192,558円である。

投資その他の資産においては、効率的な資産運用のため利率の良い有価証券198,723,000円の投資を行っている。

水道料金の収入状況は次のとおりである。

(単位：円・％)

区分	調定額	調定変更額	収入金額	不納欠損額	年度末未収金額	収入率
現年度分	833,464,270	0	826,798,770	0	6,665,500	99.20
過年度分	17,907,244	△ 409,280	7,822,442	391,440	9,284,082	44.70
計	851,371,514	△ 409,280	834,621,212	391,440	15,949,582	98.08

(消費税等を含む)

資産の77.95%を占める固定資産は、次のとおりである。

固定資産明細書

有形固定資産

(単位：円)

資産の種類	年度当初の現在高	当年度増加額	当年度減少額	年度末現在高	減価償却累計額			年度末償却未済高
					当年度増加額	当年度減少額	累計	
土地	122,717,013	0	0	122,717,013	0	0	0	122,717,013
建物	214,560,806	105,499,431	0	320,060,237	8,840,601	0	76,578,546	243,481,691
構築物	11,897,870,800	658,144,557	12,399,439	12,543,615,918	320,634,104	4,625,736	4,738,870,120	7,804,745,798
機械及び装置	997,132,656	246,056,273	5,288,550	1,237,900,379	70,892,067	4,164,734	427,318,446	810,581,933
車両運搬具	882,035	0	0	882,035	44,101	0	837,933	44,102
工具器具及び備品	2,469,611	0	0	2,469,611	64,800	0	2,333,130	136,481
建設仮勘定	207,482,000	438,018,986	207,482,000	438,018,986	0	0	0	438,018,986
計	13,443,114,921	1,447,719,247	225,169,989	14,665,664,179	400,475,673	8,790,470	5,245,938,175	9,419,726,004

(消費税等を除く)

無形固定資産

(単位：円)

資産の種類	年度当初現在高	当年度増加額	当年度減少額	当年度減価償却高	年度末現在高	備考
電話加入権	320,000	0	0	0	320,000	
計	320,000	0	0	0	320,000	

(消費税等を除く)

投資その他の資産

(単位：円)

資産の種類	年度当初現在高	当年度増加額	当年度減少額	年度末現在高	備考
投資有価証券	198,815,000	99,726,000	99,818,000	198,723,000	
計	198,815,000	99,726,000	99,818,000	198,723,000	

(消費税等を除く)

(2) 負債について

(単位：円・%)

区 分	令和3年度	令和2年度	増 減 額	増減率
固定負債	1,995,293,036	1,812,883,316	182,409,720	10.06
企業債	1,995,293,036	1,812,883,316	182,409,720	10.06
流動負債	1,037,708,397	465,893,854	571,814,543	122.73
企業債	235,190,280	224,342,393	10,847,887	4.84
未払金	792,626,765	231,635,820	560,990,945	242.19
引当金	9,488,886	8,590,641	898,245	10.46
その他流動負債	402,466	1,325,000	△ 922,534	△ 69.63
繰延収益	3,127,634,035	2,908,497,839	219,136,196	7.53
長期前受金	4,709,098,531	4,366,662,272	342,436,259	7.84
長期前受金収益化累計額(△)	1,581,464,496	1,458,164,433	123,300,063	8.46
負債合計	6,160,635,468	5,187,275,009	973,360,459	18.76

(消費税等を除く)

流動負債のうち未払金の主なものは、県南広域水道企業団へ支払う3月分水道料金(受水費)18,951,766円、豊岡地区水道整備事業における委託料及び工事請負費で676,409,900円である。内訳としては、北田形ポンプ場及び第1・第2配水池重点施工監理業務委託8,479,900円、配水管実施設計業務委託31,753,700円、北田形ポンプ場施設整備工事(1～3工区)146,869,600円、第1配水池施設整備工事(1～3工区)141,727,500円、第2配水池施設整備工事(1～3工区)178,420,600円、送・配水管布設工事(1～2工区)169,158,600円となっている。

繰延収益については、償却資産にかかる補助金及び工事負担金等を長期前受金に計上し、毎年減価償却に見合う分を収益化して累計するものである。

(3) 資本について

(単位：円・%)

区 分	令和3年度	令和2年度	増 減 額	増 減 率
資本金	5,105,622,496	4,721,929,652	383,692,844	8.13
資本金	5,105,622,496	4,721,929,652	383,692,844	8.13
剰余金	1,073,845,536	1,014,617,314	59,228,222	5.84
資本剰余金	35,872,214	36,717,058	△ 844,844	△ 2.30
利益剰余金	1,037,973,322	977,900,256	60,073,066	6.14
資本合計	6,179,468,032	5,736,546,966	442,921,066	7.72

(消費税等を除く)

当年度純利益は、60,073,066円で、未処分利益剰余金は、1,033,073,322円である。

む す び

令和３年度の主な工事は、布設工事１１か所（うち繰越事業２か所）、移設工事１１か所（うち繰越事業２か所）、施設設備更新工事等１２か所が行われている。

給水戸数は15,659戸（前年度比2.3％増）、総有収水量3,179,140m³（同比0.4％減）及び給水収益757,694,792円（同比2.21％増）である。平成２９年３月に安全安心な水を安定的に供給するための中長期的な基本的計画として１０年間の「経営戦略」が策定されている。経営状況は、収益的収入894,605,104円に対し、収益的支出834,532,038円、差し引いた当年度純利益は60,073,066円の黒字となっている。これにより当年度未処分利益剰余金は1,033,073,322円となった。

公営企業は、必要な経費についてその経営に伴う収入をもって充てなければならないという独立採算制に基づき運営をすることとされている。収益面では、総務省が示す操出基準に基づき水道事業の経営に必要な財源について一般会計から386,593,000円の繰入れがされている。また、企業債の当年度末残高は2,230,483,316円となっている。給水未収金は15,949,582円で前年度に比べ減少しているものの、引き続き経費削減及び給水未収金の解消に努めるとともに、施設の老朽化に伴う更新費用等の増加が見込まれるため、補助金や有利な企業債を利用するなど財源を確保し、計画的で効率的な財政運営に努められたい。

水道は、市民生活に欠くことのできない重要なライフラインとして、常に安全で安心な水道水を提供することが求められており、平常時はもとより近年多発している地震や風水害をはじめとする災害時においても被害を最小限に食い止め、いち早く安定した給水を確保することが望まれる。今後も、「安全・強靱・持続」を柱としての事業経営を図られたい。

下水道事業会計

1 業務実績について

今年度も、前年度に引き続き公共下水道の整備や農業集落排水施設の維持管理等に努められた。

令和3年度の主な事業として、龍ヶ原、本村及び納楚地区で工事延長4,107mの下水道整備とともに、前古賀地区等で後付け公共ます等の設置を行っている。

概況としては、令和3年度末の公共下水道及び農業集落排水の接続済件数は4,147戸（前年度比214戸増）、接続済人口11,771人（同比568人増）であり、それぞれ前年度より増加している。うち、公共下水道事業における水洗化済人口は11,170人で、水洗化率は76.7％である。また、公共下水道全体計画面積916haに対し現在処理区域面積は527ha、面整備率は57.5％である。

2 予算の執行状況について

（1）収益的収入及び支出について

令和3年度の決算額は、次のとおりである。（消費税及び地方消費税を含む。）

（単位：円・％）

区 分	予算現額	決算額	予算現額に対する 決算額の増減	執 行 率
下水道事業収益	838,398,000	826,254,817	△ 12,143,183	98.55
営業収益	245,938,000	248,592,080	2,654,080	101.08
営業外収益	587,459,000	573,364,652	△ 14,094,348	97.60
特別利益	5,001,000	4,298,085	△ 702,915	85.94
区 分	予算現額	決算額	不 用 額	執 行 率
下水道事業費用	762,666,000	746,324,585	16,341,415	97.86
営業費用	663,981,000	652,068,488	11,912,512	98.21
営業外費用	94,485,000	94,236,057	248,943	99.74
特別損失	200,000	20,040	179,960	10.02
予備費	4,000,000	0	4,000,000	0.00

収益的収入の構成をみると、営業外収益が69.39％を占めており、主として他会計負担金406,359,000円である。営業収益は、主として下水道使用料248,272,200円（消費税等含む）であり、内訳は下水道使用料237,747,080円、農業集落排水処理施設使用料10,525,120円で、現年度の調定額である。

収益的支出の執行率は97.86％である。不用額の主なものは、流域下水道維持管理負担金2,951,360円及び報償費1,438,800円で、報償費は水洗便所等改造資金助成の申請が少なかったことによるものである。

(2) 資本的収入及び支出について

令和3年度の決算額は、次のとおりである。(消費税及び地方消費税を含む。)

(単位：円・％)

区 分	予算現額	決算額	予算現額に対する 決算額の増減		執行率
資本的収入	723,177,000	710,999,690	△ 12,177,310		98.32
企業債	347,800,000	334,500,000	△ 13,300,000		96.18
他会計出資金	125,239,000	124,509,000	△ 730,000		99.42
補助金等	227,237,000	227,237,000	0		100.00
負担金等	22,901,000	24,753,690	1,852,690		108.09
区 分	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	執行率
資本的支出	1,044,265,000	1,027,003,243	0	17,261,757	98.35
建設改良費	540,404,000	524,148,045	0	16,255,955	96.99
企業債償還金	502,861,000	502,855,198	0	5,802	100.00
予 備 費	1,000,000	0	0	1,000,000	0.00
差 引	△ 321,088,000	△ 316,003,553			

資本的収入の企業債は、予算現額に対し決算額が13,300,000円減となっている。これは、公共下水道建設工事の事業費減に伴い起債借入額が減少したものである。他会計出資金の124,509,000円は、一般会計からの基準外繰入金である。

資本的支出の執行率は98.35％であり、不用額の主なものは、工事請負費11,611,100円である。

資本的収入が資本的支出に対して不足する額316,003,553円は、当年度分消費税資本的収支調整額26,118,656円、当年度分損益勘定留保資金231,199,929円、減債積立金19,077,080円及び当年度利益剰余金処分額39,607,888円をもって全額補てんされている。

3 経営成績について

(1) 損益計算について

(当該年度中における企業の収益と費用を対比して損益を表示し、企業の経営成績を明らかにするものである。消費税及び地方消費税を除く。)

(単位：円・%)

区 分	令和3年度	令和2年度	増 減 額	増 減 率
下水道事業収益	783,166,103	779,006,422	4,159,681	0.53
営業収益	226,022,149	217,971,446	8,050,703	3.69
営業外収益	553,236,604	557,365,430	△ 4,128,826	△ 0.74
特別利益	3,907,350	3,669,546	237,804	6.48
下水道事業費用	729,354,527	733,326,240	△ 3,971,713	△ 0.54
営業費用	631,339,472	627,665,832	3,673,640	0.59
営業外費用	97,996,696	102,323,880	△ 4,327,184	△ 4.23
特別損失	18,359	3,336,528	△ 3,318,169	△ 99.45
純損益	53,811,576	45,680,182	8,131,394	17.80
経常損益	49,922,585	45,347,164	4,575,421	10.09
営業損益	△ 405,317,323	△ 409,694,386	4,377,063	△ 1.07

営業収益の主なものは、下水道使用料225,702,712円(現年度の調定額。消費税等除く)で、営業収益の99.86%を占めている。

営業外収益の主なものは、他会計負担金406,359,000円及び長期前受金戻入144,658,434円であり、他会計負担金は、一般会計から企業会計へ繰り入れる場合に総務省から通知されている経費負担金分を基準として行われているもので、基準内繰入金である。

(2) 剰余金について

ア 利益剰余金について（剰余金がその年度中に増減した内容を表すものである。）

前年度末繰越利益剰余金	0 円
当年度減債積立金の取崩	19,077,080 円
当年度純利益	53,811,576 円
当年度末処分利益剰余金	72,888,656 円

前年度繰越利益剰余金は資本金へ26,603,102円の組入、及び減債積立金19,077,080円を行ったため0円となる。

なお、減債積立金へ積立した19,077,080円は取り崩して、その他未処分利益剰余金としている。

イ 資本剰余金について（本年度増減額）

前年度末資本剰余金	0 円
減債積立金の取崩	0 円
他会計出資金	0 円
受贈財産評価額	0 円
国庫補助金	0 円
他会計補助金	0 円
受益者負担金等	0 円
工事負担金	0 円
企業債の償還	0 円
当年度末資本剰余金	0 円

4 財務状況について

(1) 資産について

(単位：円・％)

区 分	令和3年度	令和2年度	増 減 額	増減率
資産合計	13,600,487,994	13,453,976,707	146,511,287	1.09
固定資産	13,542,201,780	13,395,052,152	147,149,628	1.10
有形固定資産	11,147,743,184	10,935,849,922	211,893,262	1.94
無形固定資産	2,392,748,596	2,457,492,230	△ 64,743,634	△ 2.63
投資その他の資産	1,710,000	1,710,000	0	0.00
流動資産	58,286,214	58,924,555	△ 638,341	△ 1.08
現金預金	6,471,669	23,742,264	△ 17,270,595	△ 72.74
未収金	51,814,545	35,182,291	16,632,254	47.27

(消費税等を除く)

流動資産のうち未収金の主なものは、消費税及び地方消費税還付金20,950,065円、一般会計出資金（基準外繰入）20,363,000円である。また、未収金のうち貸倒引当金は、401,110円である。

下水道使用料及び農業集落排水処理施設使用料の収入状況は、次のとおりである。

【下水道使用料】

(単位：円・％)

区分	調定額	調定変更額	収入額	不納欠損額	年度末未収金額	収入率
現年度分	237,747,080	0	234,154,300	0	3,592,780	98.49
過年度分	9,496,250	△ 19,840	5,048,300	129,670	4,298,440	53.27
計	247,243,330	△ 19,840	239,202,600	129,670	7,891,220	96.76

(消費税等を含む)

【農業集落排水使用料】

(単位：円・％)

区分	調定額	調定変更額	収入額	不納欠損額	年度末未収金額	収入率
現年度分	10,525,120	0	10,455,750	0	69,370	99.34
過年度分	68,110	0	68,110	0	0	100.00
計	10,593,230	0	10,523,860	0	69,370	99.35

(消費税等を含む)

資産の99.57%を占める固定資産は、次のとおりである。

固定資産明細書

有形固定資産

(単位：円)

資産の種類	年度当初 現在高	当年度 増加額	当年度 減少額	年度末 現在高	減価償却累計額			年度末 償却 未済高
					当年度 増加額	当年度減少額	累計	
土地	10,471,956	0	0	10,471,956	0	0	0	10,471,956
建物	29,997,977	0	0	29,997,977	967,812	0	1,935,624	28,062,353
構築物	11,001,848,955	474,673,813	1,123,594	11,475,399,174	249,688,499	27,303	491,430,480	10,983,968,694
機械及び装置	130,213,629	3,790,000	1,607,858	132,395,771	13,686,511	406,920	32,727,521	99,668,250
工具器具及び備品	99,431	0	0	99,431	0	0	0	99,431
建設仮勘定	25,403,000	13,896,000	13,826,500	25,472,500	0	0	0	25,472,500
計	11,198,034,948	492,359,813	16,557,952	11,673,836,809	264,342,822	434,223	526,093,625	11,147,743,184

(消費税等を除く)

無形固定資産

(単位：円)

資産の種類	年度当初現在高	当年度増加額	当年度減少額	当年度減価償却高	年度末現在高	備考
施設利用権	2,457,492,230	44,474,678	0	109,218,312	2,392,748,596	矢部川流域下水道処理施設
計	2,457,492,230	44,474,678	0	109,218,312	2,392,748,596	

(消費税等を除く)

投資その他の資産

(単位：円)

資産の種類	年度当初現在高	当年度増加額	当年度減少額	年度末現在高	備考
出資金	1,710,000	0	0	1,710,000	公益財団法人 下水道管理センター出捐金
計	1,710,000	0	0	1,710,000	

(消費税等を除く)

(2) 負債について

(単位：円・%)

区 分	令和3年度	令和2年度	増 減 額	増減率
固定負債	6,311,753,815	6,520,461,607	△ 208,707,792	△ 3.20
企業債	6,311,753,815	6,520,461,607	△ 208,707,792	△ 3.20
流動負債	577,994,247	533,724,145	44,270,102	8.29
企業債	543,207,792	502,855,198	40,352,594	8.02
未払金	30,589,371	25,957,330	4,632,041	17.84
引当金	3,697,084	4,411,617	△ 714,533	△ 16.20
その他流動負債	500,000	500,000	0	0.00
繰延収益	5,442,914,549	5,310,286,148	132,628,401	2.50
長期前受金	5,726,433,343	5,450,625,104	275,808,239	5.06
長期前受金 収益化累計額 (△)	283,518,794	140,338,956	143,179,838	102.02
負債合計	12,332,662,611	12,364,471,900	△ 31,809,289	△ 0.26

(消費税等を除く)

流動負債のうち未払金の主なものは、流域下水道維持管理負担金(年度精算期納付額)8,031,360円、マンホールポンプ施設維持管理業務委託料3,850,000円及び下水道台帳システム更新業務委託料6,215,000円である。

繰延収益については、償却資産にかかる補助金及び工事負担金等を長期前受金に計上し、毎年減価償却に見合う分を収益化して累計するものである。

(3) 資本について

(単位：円・%)

区 分	令和3年度	令和2年度	増 減 額	増 減 率
資本金	1,194,936,727	1,043,824,625	151,112,102	14.48
資本金	1,194,936,727	1,043,824,625	151,112,102	14.48
剰余金	72,888,656	45,680,182	27,208,474	59.56
資本剰余金	0	0	0	0.00
利益剰余金	72,888,656	45,680,182	27,208,474	59.56
資本合計	1,267,825,383	1,089,504,807	178,320,576	16.37

(消費税等を除く)

利益剰余金72,888,656円は、当年度純利益によるものである。

む す び

公共下水道事業は、公共用水域の水質保全及び生活環境の改善を目的として、3市1町(八女市、筑後市、みやま市、広川町)による流域下水道整備事業を平成9年度から着工し、八女市では、平成18年10月から一部の地域において供用を開始し順次整備を進めている。令和4年3月現在で、全体計画面積916haに対し処理区域面積は527ha、面整備率は57.5%である。また、平成28年度に八女市流域関連公共下水道全体計画を見直し、下水道施設の整備と安定した事業経営に努められている。

令和3年度の下水道事業収益は783,166,103円で、下水道事業費用は729,354,527円となり、53,811,576円の純利益となっているが、一般会計から124,509,000円の基準外繰入がなされている。また、公共下水道使用料の収入率は96.76%である。

本来公営企業の経営は、必要な経費はその経費に伴う収入をもって充てなければならないという独立採算制を原則としている。今後は、一般会計からの繰入れが少なくなるよう、下水道事業の経営上の課題分析や将来収支見通しを的確に行った上で、持続的な経営に向けた様々な取り組みについて検討を行うとともに、水洗化率の向上と、未収金の解消に努められたい。また、不納欠損処分については、経過年数のみで安易に判断することなく、現在の利用状況を把握するなどして他の利用者との公平性を確保されたい。

下水道は生活環境の改善と公共用水域の水質保全のための重要な事業であり、中長期的視野をもって、公営企業として持続的かつ効率的な事業運営を図られたい。